

2018年4月開学をめざす
御殿山キャンパス・グローバルタウン



ホームカミングデーのご案内

日 時 平成28年10月29日(土) 11:00~16:00

場 所 関西外国語大学 中宮キャンパス
(京阪電車 枚方市駅下車 北口 3番、4番乗り場よりバス約8分)

受付場所 マルチメディアホール(正門を入れて左手の建物、図書館学術情報センター内)

当日のスケジュール

11:00~11:30 同窓会総会(マルチメディアホール)

11:30~12:30 講演会(マルチメディアホール)

講 師 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
大会準備運営第一局/パラリンピック統括部パラリンピック統括課長

仲前 信治 氏 (外国语学部 英米語学科 1997年3月卒)

演 題 「輝く同窓生—国際交流の現場から—」(仮題)

12:40~16:00 懇親会(厚生南館)

●懇親会場では、軽食・お飲み物をご用意しています。

●懇親会参加費:お一人2,000円(中学生以下は無料)

●学内は所定の場所以外は禁煙です。

※ホームカミングデーにご参加の方は同封のハガキを返送してください。同窓会ホームページからも申込可能です。

関西外大教職教育センター からのご案内

第18回「関西外大OB・OG教員のつどい」(関西外大教職教育センター主催)を上記の同窓会総会・
講演会の後、引き続きマルチメディアホールで開催します(12:30~13:00)。
現在、小学校、中学校、高校で教鞭をとっているOB・OGの方のご参加をお待ちしています。

メールアドレス登録・変更登録のお願い

登録されたメールアドレス宛てに同窓会などの最新情報を配信しています。
会員登録済みでメールアドレスが未登録またはアドレスを変更された方は登録内容変更フォーム
よりメールアドレスの登録、変更登録をお願いします。
また住所、氏名などの変更も同窓会のホームページから変更登録をお願いします。

Alumni

関西 外国語 大学 同窓会誌

関西外国語大学同窓会誌 第6号 2016年10月1日発行

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1

Tel. 072-805-2801(代表) Fax. 072-805-2812

<http://www.kansaigaidai-dousou.jp/>

関西外国語大学同窓会誌

Alumni

Kansai Gaidai University Alumni Association

Vol. 6
Oct. 2016

創立70周年記念感謝の集い 1800人が参加し盛大に挙行

事業報告／支部だより／KGUトピックス

外国语学部創立50周年記念特集

KGUAA

創立70周年記念感謝の集い

1800人が参加し盛大に挙行



1800人が参加した創立70周年記念式典

本学の創立70周年を祝う記念式典・祝賀会が「感謝の集い」として2015年11月8日、中宮キャンパスの谷本記念講堂で開かれた。文部科学省高等教育局の戸松幹孝・私学部参事官をはじめ、英国総領事館のマイケル・シラー総領事、本学が単位互換協定を結んでいる米国などの大学関係者、国内の大学、高校などの教育界、官公庁、企業の代表、教職員、在学生、留学生ら総勢約1800人が出席。式典会場では和太鼓集団「倭」がダイナミックに演奏し、本学吹奏楽部、混声合唱団「ラベリテ」とのセッションも披露した。同日開催のホームカミングデーに参加の卒業生たちも、同窓会総会の会場から式典に合流。午後からは3か所で祝賀会が行われた。



和太鼓の「倭」と吹奏楽部、混声合唱団「ラベリテ」が見事なコラボを披露した

この日はあいにくの空模様だったが、受け付けをすませた来賓や参加者は本学紹介の映像が流れる中、次々と席に着いた。式典は午前11時にはじまり、この日のために制作されたDVD(約15分)を上映。参加者は、本学70年の歴史を目と耳で確かめた。谷本榮子・本学理事長が「教育環境の整備と教育力の強化に努め、大学最大の使命である有為な人材の育成を実現してまいります。そして、高等教育の担い手としての魅力と存在感を十分に發揮できるよう、教職員と力を合わせて、創意工夫を凝らし、大いなる勇気を奮って、しっかりと歩み続けます」とあいさつ。文部科学省の戸松参事官は「今後とも、様々な分野で活躍し、我が国の発展に貢献でき



文部科学省の戸松幹孝・私学部参事官(左)と日本私立大学協会の小出秀文・常務理事(中)、米国ガスタバスアドルファス大学のレベッカ・バーグマン学長(右)

る優れた人材を育成されることを願っています」と文科大臣の祝辞を代読した。



在学生代表の崎山瞳さん(左)と留学生代表のモーガン・ペイリーさん(右)

日本私立大学協会の小出秀文・常務理事、海外協定校を代表して米国ガスタバスアドルファス大学のレベッカ・バーグマン学長が祝辞を披露。祝電披露の後、在学生代表の崎山瞳さん(英語キャリア学科4年)が英語で、モーガン・ペイリーさん(米国ディポール大学出身)が流暢な日本語で、留学体験談を織り込んだスピーチを行った。

続いて協力企業など15団体・個人への感謝状贈呈。代表して荒川化学工業(株)の大谷有・執行役員業務統括部総務部長に谷本理事長から感謝状が贈られた。同窓会からは本学に記念品が贈呈され、廣本和司・同窓会長(短期大学部教授)が目録を谷本理事長に手渡した。



同窓会懇親会会場でも大学より贈呈された樽酒で祝賀ムードあふれる



谷本榮子理事長挨拶(要旨)

「谷本英学院」以来の70年の歩みは、起伏と波乱に満ちたものでした。谷本英学院の創設、短期大学の開校、4年制大学の開学、国際交流ネットワークづくりなど、多くの試練と困難に直面しましたが、ひとつひとつ、懸命に乗り越えてきました。

故谷本貞人前理事長が本学との関わりを書き著した個人史「関西外大づくり三十八年」には、学園づくりに奔走した、若き情熱の日々とともに、苦闘の数々が刻まれています。旧制大阪商科大学の学生当時、本学創立者の谷本昇・多加子夫婦からの依頼で、学園の教師を兼ね、生徒募集のポスター貼りや木造校舎の修繕に追われたこと、短期大学開設時には資金や校地の確保などに奔走し、先生方の招聘で夜遅くまでお願いに回ったこと、文部省から財政面での指導を受け、対応に苦慮したこと、関西外国语大学を立ち上げ、国際交流を海外の大学に呼びかけたものの受け入れてもらえず、挫折しそうになったこと、国内の外国语大学としては初となる、大学院博士課程後期の開設に漕ぎ着けたことなどなど、枚挙にいとまがありません。

前理事長の座右の銘は、「不留」でした。同じところに留まらないこと、言い換えれば、常に前に向かって進み続けることです。関西外大の70年は、常に前へ前へと歩み続け「不留」の精神を具現化してきた道のりであったと言えるでしょう。

大学を取り巻く環境を見ますと、少子化、国際化が一段と進むなか、かつてない厳しい時代を迎え、国際的に通用する教育の質の向上が問われています。今こそ創学の原点に立ち返り、社会と時代の変化、ニーズを的確にとらえ、「より魅力ある」「個性あふれる」大学に成長するため、改革を進め、さらに前へ向かって、留まることなく歩み続けなければなりません。

改めて、「不留」の精神を引き継ぎ、新キャンパス建設など教育環境の整備と、教育力の強化に努め、大学の最大の使命である有為な人材の育成を実現してまいります。そして、高等教育の担い手としての魅力と存在感を十分に發揮できるよう、教職員と力を合わせて、創意工夫を凝らし、大いなる勇気を奮って、しっかりと歩み続け、卒業生の皆さんにも、今までにも増して、母校を誇りに思って頂ける大学に成長して行くことを誓います。

President of the Board of Trustees, KGU
Eiko Tanimoto

Our path of 70 years was not always smooth but rather full of challenges—the opening of English School right after the war, establishment of the two-year and four-year programs, expansion of the international network, and the list goes on.

We cleared hurdles one by one with support and cooperation from everyone.

The 38 years of Development of Kansai Gaidai written by the late Sadato Tanimoto, the former President, is his autobiography written 30 years ago. The book describes his strong passion and struggles in his younger days.

He was a student of Osaka University of Commerce, the predecessor of the current Osaka City University, when he was asked by Noboru and Takako Tanimoto to help them open the English school. Literally wearing two hats, he devoted himself to the preparations by distributing fliers and even renovating the school buildings.

At the time of establishment of the two-year college, Sadato Tanimoto exerted himself to secure land, raise funds and hire teaching staff. Due to insufficient funds, the Ministry of Education seriously questioned the establishment of the school, but he was finally successful.

Immediately after the four-year university was launched, he aggressively approached many overseas institutions for partnerships to accomplish his long-time wish, but those efforts did not bear fruit easily in the beginning.

By making tremendous efforts in developing an attractive curriculum and securing qualified faculty members, he finally succeeded in obtaining approval to offer a doctoral program, the very first of its kind among universities of foreign studies in Japan. These are just a few of his many achievements.

The motto of the late president was the FURYU, which means "continuous innovation and improvement." We must make steps forward without remaining the same position with this spirit.

The history of Kansai Gaidai is the realization of this spirit with courage and strong passion for education.

Owing much to your kind support, Kansai Gaidai has steadily made significant steps forward. However, we should not be satisfied with where we stand now.

The environment surrounding us is rapidly changing including the acceleration of demographic aging, and rapid internationalization. Now we must work hard to further improve the quality of our education to make it internationally competitive. Competition among the Japanese universities is becoming extremely keen. Today, we reflect upon our history to once again examine our origins, and then carry out whatever it takes to make our university more attractive and unique in order to effectively respond to the needs of today's society.



会長 廣本 和司

Kazushi Hiromoto

Chair,
Kansai Gaidai University
Alumni Association

関西外大同窓生の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、当会の活動に関しましては何かとご指導、ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

平成27年度に創学70周年を迎え、おかげさまをもちまして記念式典等を滞りなく終えることができました。今年度は大学創立50周年を迎える。現在は枚方市中宮の地でますます発展の一途をたどっていることは皆様ご存じの通りでございます。

わが同窓会も各支部ごとに活発に活動を行っております。同窓会の基盤は会員同士の交流を通した絆であると考えます。その輪がひろがり、現役学生との交流もなお一層拡大すれば同窓会としてこれより嬉しいことはございません。

2018年には御殿山キャンパス・グローバルタウンが完成し、学研都市キャンパスより英語国際学部が移転してまいります。この大きな節目を飛躍の転機として母校がますます発展することを確信しております。同窓生の皆様方にもより一層ご支援、ご協力をお願いいたします。

I hope this message finds you well and in high spirits. I wish to express my sincere gratitude for your continuing cooperation and support for the Kansai Gaidai University Alumni Association.

Last year, we celebrated the 70th anniversary of our university's foundation, and this year 2016 marks the 50th anniversary of the College of Foreign Studies, which continues to prosper at the current Nakamiya campus.

All the chapters of the Kansai Gaidai University Alumni Association have been very active, and the key for this success is the bond among the alumni members. I hope that this network will be further expanded and more active interactions with students will be realized.

In 2018, the Gotenyama Campus·Global Town will be completed and the College of Global Communication and Language will be relocated to this new site. I am sure this project will be another significant step for the further enhancement of our University. I would like to conclude my remarks by asking for your continuing support for the Alumni Association.



関西外国语大学同窓会 平成27年度 収支決算書

自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日

(単位 円)

科 目	予算額	今期決算	増減	備考
	(a)	(b)	(b)-(a)	
1 繰越金	209,657,774	209,657,774	0	
2 同窓会費	0	0	0	預り金方式に変更
3 同窓会懇親会費	1,000,000	518,000	△482,000	
4 受取利息	5,000	81,386	76,386	
5 雑収入	0	0	0	
6 預り金収入	120,000	39,825	△80,175	源泉徴収
7 収入合計	1,125,000	639,211	△485,789	
8 収入の部合計	210,782,774	210,296,985	△485,789	
9 行事費	3,000,000	2,433,357	△566,643	
10 奨学金・協賛費	12,300,000	11,125,661	△1,174,339	
11 退学者返還金	0	0	0	
12 支部補助金	3,000,000	2,642,214	△357,786	
13 外注費	3,500,000	1,696,220	△1,803,780	
14 出版・印刷費	2,300,000	2,342,522	42,522	
15 会議費	100,000	14,324	△85,676	
16 旅費・交通費	2,000,000	786,932	△1,213,068	
17 通信運搬費	2,000,000	1,532,400	△467,600	
18 人件費	3,000,000	2,688,500	△311,500	
19 雑費	240,000	297,240	57,240	同窓会旗等
20 預り金支出	60,000	38,208	△21,792	源泉徴収
21 支出合計	31,500,000	25,597,578	△5,902,422	
22 次期繰越金	179,282,774	184,699,407	5,416,633	
23 支出の部合計	210,782,774	210,296,985	△485,789	

■次期繰越金内訳

大口定期預金（三井住友銀行枚方支店）	140,000,000
普通預金（三井住友銀行枚方支店）	44,643,618
現金	55,789
合計	184,699,407

関西外国语大学同窓会 平成28年度 収支予算

自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日

(単位 円)

科 目	前年度 決算額	今年度 予算額	増減	備考
1 繰越金	209,657,774	184,699,407	△24,958,367	
2 同窓会費	0	10,000,000	10,000,000	本年度より入金 平成28年 度入学 預入・届入生分
3 同窓会懇親会費	518,000	700,000	182,000	
4 受取利息	81,386	67,000	△14,386	
5 雑収入	0	0	0	
6 預り金収入	39,825	40,000	175	源泉徴収
7 収入合計	639,211	10,807,000	10,167,789	
8 収入の部合計	210,296,985	195,506,407	△14,790,578	
9 行事費	2,433,357	6,500,000	4,066,643	ホームページ 70周年記念品贈呈
10 奨学金・協賛費	11,125,661	12,000,000	874,339	
11 退学者返還金	0	0	0	
12 支部補助金	2,642,214	4,000,000	1,357,786	支部補助金、 総会補助金
13 外注費	1,696,220	3,000,000	1,303,780	ホームページ 管理 会員データ管理
14 出版・印刷費	2,342,522	2,300,000	△42,522	
15 会議費	14,324	100,000	85,676	
16 旅費・交通費	786,932	1,000,000	213,068	
17 通信運搬費	1,532,400	2,000,000	467,600	
18 人件費	2,688,500	3,000,000	311,500	
19 雑費	297,240	300,000	2,760	
20 預り金支出	38,208	40,000	1,792	源泉徴収
21 支出合計	25,597,578	34,240,000	8,642,422	
22 次期繰越金	184,699,407	161,266,407	△23,433,000	
23 支出の部合計	210,296,985	195,506,407	△14,790,578	

■平成28年度同窓会奨学金採用者数

所属	採用者数	所属	採用者数	合計
大学	22 人	短大	8 人	30 人

平成27年度同窓会第三期事業報告

活動方針

1 同窓会組織の充実について

- (1) 同窓会への登録推進
- (2) ホームカミングデーへの参加推進
- (3) 同窓会の連携強化策の深耕
- (4) 支部活動充実のための支援
- (5) 支部設立の支援

2 情報発信の強化について

- (1) 情報発信機能の有効活用
- (2) ホームページのアクセス数、
Facebookフォロワー数を増やす

3 現役生への支援活動の多様化について

- (1) 就職支援活動の多様化
- (2) クラブ活動への支援

4 母校との連携強化

- (1) 創立70周年および75周年記念事業への支援
- (2) 母校の関係部署との連携を強化し、
母校の発展・充実寄与に最大限の効果をもたらす

国内支部

各支部が独自色をもってさまざまな活動を展開中

2015年6月7日
中部地区初の同窓会設立総会と第1回同窓会開催2014年11月30日
第4回関東地区同窓会と第2回関東支部総会を開催

海外支部

上海に続き、2拠点目となるマレーシア支部設立

2015年10月3日
マレーシア支部設立総会及び同窓会開催

【キャリアセンター主催】エグゼクティブセミナー

2015年6月25日(木)

Globalize your mind!

「株式会社SEICO」
(大阪府堺市)

代表取締役

前田 英樹さん
(外国語学部 英米語学科 1992年3月卒)



2015年11月12日(木)

まろやかな風が吹く学校
～授業改革で学校は変わる～

枚方市立第四中学校
(大阪府枚方市)

校長
岩谷 誠さん
(外国語学部 英米語学科 1982年3月卒)



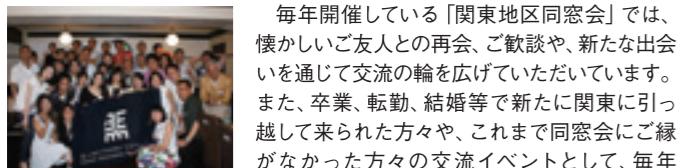
>>> 同窓会支部だより

Kansai Gaidai University Alumni Association

■関東支部



関東支部では、関東地域在住の同窓生の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的として各種イベントを開催しています。



毎年開催している「関東地区同窓会」では、懐かしいご友人との再会、ご歓談や、新たな出会いを通じて交流の輪を広げていただいている。また、卒業・転勤・結婚等で新たに関東に引っ越して来られた方々や、これまで同窓会にご縁がなかった方々の交流イベントとして、毎年

多彩なイベントを通じて交流の輪を広げています

「関東 Welcome Party」を開催しています。
その他、皆様にお楽しみいただける各種イベントも検討中です。
さらに、関東における母校のブランドイメージ向上や現役学生のキャリア支援の実現に向けた議論、検討も重ねています。
ご意見、ご要望があれば、お気軽に関東支部 e メールアドレスまでご連絡ください! (kanto@kansaigaidai-dousou.jp)

関東支部主催イベント情報

第6回関東地区同窓会(第4回関東支部総会・懇親会)

日時: 2016年11月27日(日) 12時~15時
場所: 品川プリンスホテル(東京都港区高輪4丁目10-30)
会費: 5,000円

<参加申込み> [eメール] kanto@kansaigaidai-dousou.jp
※お名前、フリガナ、卒業年を記載のうえ、お申し込みください。
同窓会のホームページまたは同封はがきからも申し込みできます。

関東支部主催のイベント情報を随時発信しています。
Web サイト: kansaigaidai-dousou.jp/shibus/kanto
Facebook: facebook.com/kansaigaidai.alumnikanto
Twitter: twitter.com/KGUAA_KANTO

参加申込受付中!

■上海支部



2015年11月開催のゴルフ部練習会



2016年3月同窓生(右端)事務所で行った「オフ会」&送別会

10月頃から様々な事情で日本へ帰任する方が急に増えました。設立時の役員9名の内、5名が日本へ帰任されました。その中には同窓会発起人であり、上海支部初代支部長の藤井克彦さんも含まれています。この書面をお借りして、上海支部運営のご尽力に対してお礼を述べたいと思います。5月送別会を兼ねた「オフ会」を最後に、「オフ会」「ゴルフ部練習会」が実施出来ていませんでした。同窓生の皆さんは出張や業務で忙しい方が多く、全員集まる事が難しく、日程調整も大変です。最近、新しい同窓生からの連絡もあり、8月6日(土)久しぶりに「オフ会」を開催。不定期であった「オフ会」「ゴルフ練習会」開催を、今後は定期開催が出来る様検討し、同窓生の懇親を更に深めていきたいと思っています。又、留学生との懇親会や他大学との懇親等も検討したいと思います。上海支部の発展に同窓生のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

■関西支部



関西支部は発足3年目を迎えました。特にこの1年間、関西支部は創立70年の大学として数多く輩出してきた同窓生同士の交流を図ることはもちろん、現役学生との交流、また進化する関西外大の今を同窓生に向けて発信するなど、大学のお膝元として同窓会全体の活性化に注力しました。具体的な活動として、2016年5月7日にヒルトンホテル大阪にて「第1回 関西外大卒業生 Reunion(関西支部主催)」を開催。利便性

「第1回 関西外大卒業生 Reunion」を開催しました



の高い梅田での実施、SNSを活用した若い世代への告知、若い同窓生による卒業生ネットワーク「GaiDiversity」にも協賛いただいた結果、現役で活躍する卒業生を中心に幅広い世代、地域、業界の方々約200名の同窓生にお集まりいただきました。当日は、スライドでの「御殿山キャンパス・グローバルタウン」の紹介や大学の女子駅伝部による活動報告、フラメンコ部の現役学生によるパフォーマンスを通して関西外大の今の姿を同窓生の皆さんにお伝えすることができました。これからも、関西外大の進化・発展を広く同窓生に発信し、同窓会全体の活性化や現役学生を応援していくけるような組織をめざしていきたいと思います。

今年度の予定としては、10月29日(土)のホームカミングデー当日に支部総会を予定しております。皆さま、ご参加のほど、よろしくお願いします。

■中部支部

まだまだ発展途上ですが、活発に活動しています



2016.1.30(土) Asian Dining hachiro



2016.4.16(土) 三鈴カントリー倶楽部



2016.5.15(日) 名古屋栄東急REIホテル

各参加者は初対面でも関西外大同窓生というだけで直ぐに打ち解け、大学時代の共通の話題に花を咲かせたり、楽しく有意義な時間を過ごしたりしていました。今秋以降には第2回ゴルフコンペや各種イベントを企画していく予定です。また第3回目の総会・懇親会は2017年6月に計画していますので、ご予定ください。中部地区以外の同窓の方々も大歓迎です。中部支部で関西外大同窓生の輪をさらに広げてみませんか!

■マレーシア支部



マレーシア支部の1年間の活動で一番大きなイベントはやはり昨年10月に実施された支部設立総会です。谷本理事長はテロの懸念等でないく不参加となっていましたが遠藤幹事長をはじめ大学のほうから多くの方に来馬頂き、マレーシア支部が正式に設立されました。

マレーシア支部設立準備会を立ち上げてから1年半、元本田技研工業マレーシアの副社長、水野様をはじめマレーシア在住のOB/OGの方々のご尽力により念願の支部設立を果すことができました。

マレーシア支部は会員数10名程度と現在はまだ小さな支部ですが(近隣の東南アジア諸国に比べ在留邦人数が少ない為)、大学から年に2-3回首首都クアラルンプールの大学へ留学生が送られて来る為、それらの学生と懇親会を実施したり、定期的なイベントは割と多くあります。

学生にとっても海外で活躍しているOB/OGの方々と接する機会は良い経験、また将来への自信にもなると思いますので、マレーシア支部は今後も継続的に学生のサポートを行って参ります。

支部総会・同窓会のご案内

関東支部

第6回関東地区同窓会(第4回関東支部総会・懇親会)

日時: 2016年11月27日(日) 12:00 ~ 15:00 受付開始 11:00 ~
場所: 品川プリンスホテル 東京都港区高輪4丁目10-30

会費: 5,000円
<参加申込み> ●Eメール kanto@kansaigaidai-dousou.jp ●同窓会ホームページより ●同封のハガキにて

関西支部

第3回関西支部総会

日時: 2016年10月29日(土) 10:00 ~ 10:30 受付開始 9:45 ~
場所: 中宮キャンバス ICCホール (ICC 4階)

参加費: なし
<参加申込み> ●同窓会ホームページより ●同封のハガキにて

中部支部

第3回中部支部総会・懇親会

日時: 2017年6月 場所: 名古屋市内

上海支部

第3回上海支部総会

日時、場所: 未定

マレーシア支部

第2回マレーシア支部総会

日時、場所: 未定

谷本義高学長に名誉博士号授与



本学と単位互換協定を結んでいる米国アイオワ州のモーニングサイド大学で5月14日、谷本義高大学学長へ Doctor of Humane Letters(L.H.D.=名誉人文博士号)の授与式が行われた。今回の名誉学位授与は、長年にわたる国際交流の実績とグローバル人材育成に向けた教育の実践など、学長個人の業績だけにとどまらず、本学の着実な取り組みと功績が米国の大学で高く評価されたものである。

授与式は同大学の卒業式の冒頭で行われ、卒業生、教職員、家族ら約2000人が見守った。同大学理事の須藤美矢子さんが「2007年の学長就任以来、カリキュラムの改革を行

われ、英語キャリア学部と英語国際学部の2つの学部も開設されました」と業績を読み上げ後、栄誉のフードをかけられた谷本学長は、ジョン・レインダース学長から名誉博士号の学位記を贈られた。

ちょうど30年前の1986年には谷本榮子理事長がモーニングサイド大学からDoctor of Humane Letters(LHD)が授与されており、この日の授与式でも紹介された。谷本学長は今回の授与に関して「全教職員による教育研究に対する大学全体の取り組みが評価されたたまものであり、とても名誉なことです」と話している。

関西外大×JAL エアラインフェア 創立70周年記念事業として 11/28に開催



創立70周年記念事業の「関西外大×JAL エアラインフェア」が昨年11月28日、中宮キャンパスのマルチメディアホールなどで開かれた。エアラインを志望する約400名の学生が参加し、一般参加もできる「航空教室」には家族連れの市民約100人が訪れた。

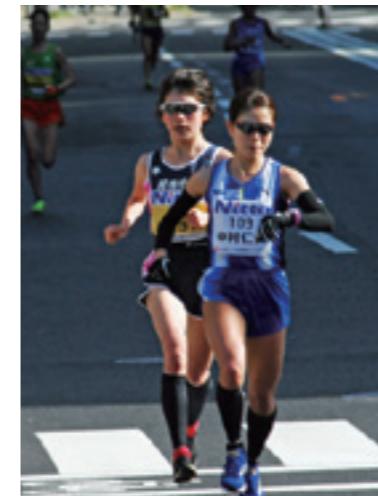
Sがチアダンスを披露。ホール入り口ではCAやパイロットの制服や機内で使っている座席の体験もあった。1号館では、エアライン演習室で本学OGのCAを囲んでの特別相談会、学生ラウンジでJALへの就職内定者とエアライン志望者との座談会が行われた。

平成28年度公立学校教員採用選考 テストの最終合格者は169人

平成28年度(2016年度)公立学校教員採用選考テストの最終合格者は169人となった。

内訳は新卒生(現役4年生)が51人、科目等履修生(教員免許取得のため科目を履修している卒業生)が10人、科目等履修生を除く既卒生が108人だった(延べ人数)。

床呂さん 大健闘14位 2時間37分08秒



リオデジャネイロ五輪の代表選考を兼ねた第35回大阪国際女子マラソン(日本陸上競技連盟、産経新聞社など主催)が1月31日、大阪市のヤンマースタジアム長居を発着する42.195キロで行われ、マラソン初挑戦となった女子駅伝部主将の床呂沙紀さん(国際言語学部4年)は14位に入る健闘を見せた。タイムは目標とした2時間40分を切る2時間37分8秒だった。

次世代の育成をめざす「ネクストヒロイン」枠6人の中では、実業団の加藤岬選手(九電工)が6位に入り、残る大学生5人では、床呂さんがトップであった。

入学式 392人が仲間入り



4月2日に中宮キャンパスの谷本記念講堂で行われた2016年度入学式で392人が新たに関西外大生となった。

内訳は、大学院博士前期課程12人、同後期課程3人、英語キャリア学部164人(英語キャリア学科133人、同小学校教員コース31人)、外国語学部1596人(英米語学科1323人、スペイン語学科273人)、英語国際学部768人、3年次編入学459人(外国語学部英米語学科348人、同スペイン語学科12人、英語国際学部99人)、短期大学部926人。

御殿山キャンパス・グローバルタウン 建設予定地で地鎮祭

御殿山キャンパス・グローバルタウンの地鎮祭が4月23日、更地に整備された枚方市御殿山南町の建設予定地(約5万平方メートル)で行われた。新キャンパス建設は関西外大ルネサンス2009の第10期整備事業で、昨年の本学創立70周年記念の事業でもある。この日の式典で、工事安全祈願や着工の儀式が滞りなく終了し、予定どおり新キャンパスの施設・建物が植音高く建設される。

3335人新たな旅立ち 2015年度学位記授与式



2015年度の学位記授与式が3月12日、中宮キャンパスの谷本記念講堂で行われ、大学院、大学、短大を合わせて3335人が卒業した。内訳は大学院6人、学部2507人(英語キャリア学部99人、外国語学部英米語学科1474人、同スペイン語学科245人、国際言語学部689人)、短期大学部822人。授与式は午前9時30分から大学院、英語キャリア学部、外国語学部スペイン語学科、国際言語学部、正午から外国語学部英米語学科、午後2時30分から短期大学部の順番で行われた。谷本義高・大学学長と谷本榮子・短期大学部学長が、大学院博士前期課程修了生、学部、短大部の卒業生の各総代に、それぞれ修士、学士、短期大学士の学位記を授与した。

同窓会が時計塔を寄贈

本学の創立70周年を記念して、関西外大同窓会が中宮キャンパス正門西側ロータリーの緑地に設置した時計塔を本学に寄贈した。創立70周年感謝の集いが開かれた昨年11月8日、同窓会総会で廣本和司会長(短期大学部教授)が表明し、このほど設置が完了。3月29日に廣本会長から谷本榮子理事長に引き渡すセレモニーが行われた。



外国語学部創立50周年記念特集

1966年
関西外国語大学
を開設

(4月)関西外国語大学を枚方市片鉢に開設、外國語学部に英米語学科、スペイン語学科を置く。1期生は436人。学校法人万代学園から関西外国語学園に改称(1963年)、大学本部を枚方学舎に移転



1968年
米・アーカンソー大の
教授と学生を招聘

(8月)米・アーカンソー大学の教授と学生18人を招聘、国際交流の第1歩を踏み出す



1969年
米・アーカンソー大の
夏期セミナーに学生を派遣

(8月)米・アーカンソー大学の夏期セミナーに学生28人を派遣。1971年8月スタートの交換留学制度の先駆けとなる



1970年
大学第1回
卒業式

(3月)大学第1回卒業式。英米語学科251人、スペイン語学科75人が卒業



大学開学半世紀に寄せて



学校法人 関西外国語大学 理事長
関西外国語大学同窓会 名誉会長

谷本 榮子

関西外国語大学はことし、大学開学半世紀、外國語学部設置50周年を迎えました。昨年の創学70周年に続くメモリアルイヤーです。開学時の“青空入学式”から50年の歳月を経て私たちの関西外大は大きく、大きく成長しました。国内外でご活躍の卒業生のみなさまの力強いご支持、ご支援の賜物であり、厚く感謝申し上げます。

私どもはこの春、メモリアルイヤーにふさわしいビッグプロジェクトを始動させました。「御殿山キャンパス・グローバルタウン」の建設です。開学は平成30年春。学研都市学舎の英語国際学部を移転し、中宮キャンパスとの一体化で大学力の一層の強化を図る一方、700人規模のセミナーハウスを建設、新たな国際交流空間を創出し、グローバル人材育成の舞台として活用してまいります。

大学はいま、厳しい“サバイバル時代”に入ろうとしています。私どもは開学半世紀を機により魅力ある大学づくりに邁進してまいります。なお一層のお力添えをお願いしますとともに、みなさまのご健勝、ご活躍をお祈りします。

On the 50 years since our university's foundation

Eiko Tanimoto
President of the Board of Trustees
Kansai Gaidai University
Honorary Chair
Kansai Gaidai Alumni Association

Kansai Gaidai University commemorates its 50th anniversary this year for both its foundation as a full-fledged four-year university and the establishment of the College of Foreign Studies. Following last year's 70th year anniversary of our foundation as an educational institute, this has become another memorial year. What started 50 years ago with its first entrance ceremony with no roof has now grown into this massive establishment. The successes of and support from our alumni, both domestically and globally, have been a large part of this, for which I am tremendously grateful.

This memorable year also marks the beginning of a major project for us - the construction of the Gotenyama Campus Global Town scheduled to open in the spring of 2018. In addition to relocating the College of Global Communication and Language from Gakkentoshi Campus to form an integration with Nakamiya Campus, we are constructing an International Seminar House facility which will house up to 700 students. This new environment for international exchange will serve as a platform for the further cultivation of global minds.

Universities are now entering a stringent era of “survival.” We would like to use this 50th anniversary as an opportunity to push forward in our pursuit of quality and appeal as a university. We thank you for your continued support and wish you continued health, happiness, and success in your endeavors.

特別寄稿

「外国語学部創立50周年をして～交流プログラムの展開」

関西外国語大学名誉教授 藤井 健夫, Ph.D.



1974年の夏期休暇中をアメリカ合衆国のUniversity of Arkansas (U of A)で過ごしていました。図書館の地下で資料をあれこれ閲覧していました時、一階が酷く騒がしくなり、何事かと上がってみた。厚いガラス越しに見えたのはとてもない竜巻が北に向かって走って行く異様な光景だった。隣州のオクラホマの境を越えていて安全面では心配なかった。関西外大の交換留学生プログラムはこのU of Aに始まり今も継承されている。

関西外大からアメリカミネソタ州のGustavus

Adolphus College (GAC)に客員教授として赴任して欲しいという依頼が舞い込んだのはこの時の事だった。結局1975年1月にこの大学に着任した。その時、当地のある教授から「藤井さん残念だったな。もう一週間早かったらすごい経験が出来たのに」と言葉を掛けられた。その時、何十年振りという凄まじいブリザードが襲来して、停電で大学の暖房設備がストップして皆が震え上がったという事件が起ったという。なんせ冬期には氷点下30°C以下に下がるという極寒の内陸地で暖房が止まつたらどうなるか想像して頂きたいた。当初一年の予定が2年で延びたのだが、この時期にGACと関西外大との間に学生交換プログラムが本格化した。ある女子学生が外大から派遣されてきたが、日米の習慣の違いに驚いていた。その一つに学生寮があった。男子学生と女子学生の居住区が完全に別

れていない学寮だが、彼らはその中で異性間の身の処し方を学んでいったようだ。

ところで海外留学の効用は何だろうか。大学卒業後に何をもたらしてくれるだろうか。外國語習得の問題をさておいて、先ず、外国で自分たちと違う価値観を持ち、違う行動をとる人達がいることを知ることがとても大事で有意義なことだから。結果的に、若者の内向き志向の弊害を排除する事にも繋がり得よう。

【経歴の一部】

（博士）Ph.D. アメリカ合衆国で取得（修士は日本）。

1988～2005年 外國語学部英米語学科長から
大学院外國語学研究科長等を歴任。

2007年3月 関西外国語大学退任、現在は名誉教授。

「外国語学部創立50周年をして」 1期生(1970年卒)からのメッセージ



小川 春

大学を卒業して約半世紀、古希を迎えて今尚現役の会社人として人生を歩む起点は50年前の関西外大への入学から始まったと言っても過言ではありません。高校時代に東京オリンピックに沸く高度成長期を体験、次は万国博覧会で戦後を払拭した新生日本の到来か?『俺の未来は世界を相手の仕事に、、、』それには外國語を身につけることが第一義!今から思えばこんな幼稚で単純な動機が私を関西外大への進学に駆り立てました。しかし勇躍して入学した大学は私の想像していた大学とは凡そかけ離れていきました。当然と言えば当然なのですが1期生ばかりの実にこじんまりとした、学風も伝統も無い是が大学かと思う位の学舎や校庭の規模、隣接するコマツ製作所の広大な敷地や工場群に大学ならこの程度の敷地や大きさが欲しいなど外觀やスケールにこだわったものです。それがどうでしょう、あれから50年、近年同窓会や学園祭で訪れる母校は眩しい位の威容、内容や設備も拡充され大学のランキングもアップ関西の否全国の私学外大の中でも上位に位置するまでに。実業界は勿論、マスコミ、政界、スポーツ、芸能界更には海外にも多数の有為の人材を輩出それぞれが外大魂、外大精神を發揮していることは誠に喜ばしい限りです。かく言う私も38歳で起業、今に至る訳ですがその原点は外大で培われた『常にフロンティアたれ!』に他なりません。祈関西外大の高揚発展!



品川 邦男

まずは、外國語学部創立50周年おめでとうございます。

私が、本新設大学に大きな希望を抱き、期待を膨らませて入学して早や半世紀! 唯々感慨無量でございます。

私は、本学を卒業後、当時の社員数が百数十名のクリエジットカード会社で働き始め、日々会員増強・加盟店拡大・売上増伸を目指し全社一丸となって邁進していたことが思い出されます。そして、年々成長し続け、私がある部署の部長を拝命した50歳の時には社員数は全社5千名を超える程までに成長していました。

しかし、その間には様々な難題に出くわし、私が携わった業務で最も苦慮しましたのが、偽造カード対策でした。アフリカ系、アジア系が各々来日しては悪用を繰り返し、その対処に大阪府警のご尽力もあって何度か偽造カード犯を逮捕しました。当時、日本国には偽造カード犯罪に対する法律が確立されておらず、犯人をその都度本国へ強制送還することしか出来ず、悔しい思いをしました。でもこれら海外の悪用犯と立ち向かう事が出来たのも、我が母校で学んだ英語力のお蔭であり、今となっては良い体験だったと思っています。

現在、68歳となった私は、退職し自由人として妻と二人で生活し、二人の息子とその家族(孫4人)に囲まれ、幸せを感じながら暮らしています。因みに、我が母校で我が妻と出会った事が人生最大の出来事であったかもしれません。

これからも関西外国語大学の益々のご発展を祈願致しております。



五島 哲也



本年4月の金沢市でのクラス会(後列右から2番目が筆者)

私ども一期生が卒業後、関西外大の大いなる飛躍の話を度々耳にしていました。学校関係者や毎年の卒業生の皆様のご努力の賜である事は間違いません。

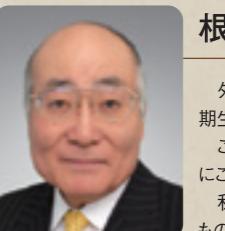
学生時代で最初に思い出すのは入学式。まだ講堂が竣工しておらず、式は正面入り口の広場で曇天の下で執り行われた。式の途中でぽつぽつと雨が。

開校当時はL形の校舎しか完成しておらずキャンパスは広々としており、近隣の煙突からは時々白煙が棚引いていた。後で聞いたのだが、そこは火葬場であったとか。

学生食堂のメニューは限定的ではあったが下宿をしている学生にとっては大変有難かった。まともな栄養の補給基地だったから。

四年間の授業で大半はクラス単位だったのが現在に至るまでクラスメイトと親交が継続出来ている基であると考えます。大阪近辺に就職したクラスメイト達と牛の涎の如くミニクラス会を開いて情報交換を行っていた。

全員を対象とした拡大クラス会は2004年に初めて開催(参加者二十三名)。幹事役の萩原輝治君が前年に急死した事は大変残念であった。その後二、三年毎にクラス会が開催され、今年四月は金沢で開催し十五名が再会を大いに楽しんだ。既に四名が鬼籍に入っているが、大学時代のクラスメイトは私の大切な人的財産となっている。



根来 繁雄

外國語学部創立50周年、誠におめでとうございます。第1期生の一人として心よりお祝い申し上げます。

このおめでたい節目に、改めて学生時代を振り返るとき、特にこの「第1期生」という言葉と運命の重みに気づくのです。

私たちの場合、大学の先輩は存在しません。ESSを創部したものの、先輩が引いてくれた道もありません。大所帯のクラブ活動は、日々の練習場所の確保、季節の合宿、夜遅くまで準備に追われた大学祭など、何かもがゼロからの出発、仲間とともに暗中模索、無我夢中で駆け抜けました。今となればバイオニア精神を培ってくれた楽しい良い思い出です。

卒業後、化学メーカーに就職してからも、常にバイオニア精神で新規の海外市場開拓に東奔西走、充実の朱夏を過ごした記憶があります。時あたかも高度成長時代の真っ只中だったでしょうか。現在、外資系企業の日本法人の代表を務めています。ここでも詩人Samuel Ullmannの「青春」の精神を胸に、日々新たな挑戦を続けています。長く好きな仕事を従事できるのも、関西外大に入学する機会に恵まれたからこそあります。英語は大学の授業で、組織マネージメントの基礎はESSで学んだお陰と感謝しております。

実は今年、クラブESSが創部50周年を迎えたのです。現役のESSやOB・OGの諸君が記念行事を計画してくれています。バイオニアとして、2つの「50周年」に立ち会えることは、私にとってこの上ない喜びです。

結びに、これまでご指導を賜りました皆様に心より感謝の意を表しますとともに、関西外大の益々の発展と皆様のご健康を祈念してご挨拶させていただきます。